

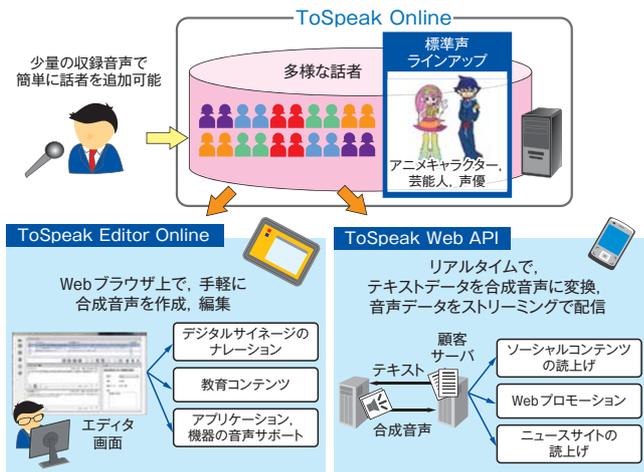
インターネット上にある膨大なサーバ資源や情報を必要に応じて利用するクラウドコンピューティングの本格化と同時に、スマートフォンやタブレットなど新しいデジタル機器が急速に普及しています。クラウドとその端末であるデジタル機器を組み合わせることで、利用シーンに最適なアプリケーションの提供が可能になります。クラウド&ソリューション事業統括部では、ユーザー接点となるデジタル機器において使い勝手のよいインタラククションを実現し、そこからクラウドに上がってくる様々な情報に対してマルチメディア処理と集合知処理を実行するアーキテクチャを“メディア インテリジェンス プラットフォーム”と呼び、それに基づいて企業向けにグローバルなソリューションを提供しています。

2011年は、クラウド上のマルチメディア処理の一つとして、音声合成クラウドサービスToSpeak™ Onlineを開発しました。低コストで高品質な音声を作成でき、更に話者を容易に追加することが可能であり、幅広い応用が考えられます。また、デジタル機器での入力を容易にするため、“枠なし”、“重ね書き可能”な手書き文字認識ソフトウェアを開発し、企業向けにライセンスしています。

今後も、デジタル機器の価値を高めるソフトウェア開発と、クラウドコンピューティングを活用した技術開発をイノベーションの源として、クラウド型アプリケーションとそのグローバルなソリューションを開発していきます。

統括技師長 村永 哲郎

● 音声合成クラウドサービス ToSpeak Online



高品質な音声を低コストで作成できる企業向け音声合成クラウドサービス ToSpeak Onlineを開発した。

このサービスは、ブラウザやWeb API (Application Programming Interface) を利用して、合成音声の作成やリアルタイムでのテキストの読上げを手軽に実現する。あらかじめ用意した様々な声質、発話スタイル、及び言語の話者(音声辞書)を選択し、用途に応じた音声コンテンツを作成できる。また、少量のデータから短期間かつ全自動での話者作成技術により、顧客ニーズに応じた話者を容易に追加することができる。

今後、話者を容易に追加できる特長を生かし、多様な話者の提供によって幅広い分野で音声合成技術の利用を推進し、サービスの拡大を目指していく。

ToSpeak Onlineの特長  
Features of ToSpeak™ Online

● スマートフォン、タブレット向け 手書き文字認識ソフトウェア



重ね書きと枠なしの手書き文字認識 (IME 画面例)

Examples of displays of Toshiba online overlapping and writing-box-free handwritten character recognition system for input method editors (IMEs) of smartphones and tablets

付加価値の高いソフトウェアのライセンスビジネスを行っており、Android™プラットフォーム向けに手書き文字認識ソフトウェアでIME (文字入力補助ソフトウェア) の提供を2011年4月から開始し、スマートフォンへのライセンスを実現した。

この手書き文字認識技術の特長は、一般的な“枠あり”だけではなく、“重ね書き”と“枠なし”という独自のインタフェースにより、ユースシーンとデバイスの液晶サイズに合わせた最適な手書き文字認識ソフトウェアを提供できることである。

今後はスマートフォンだけでなく、タブレットや業務用機器などでの利用を提案し、手書き文字認識ソフトウェアでのシェア拡大を図る。

関係論文: 東芝レビュー. 66, 4, 2011, p.56-57.